

あかの市議会だより



第36号

(3月定例会号)
平成30年3月30日

発行 / 阿賀野市議会
編集 / 議会改革推進特別委員会広報部会
議会事務局 / 岡山町10番15号
TEL / 0250-62-2510 (代表)
FAX / 0250-61-2067
HP / <http://www.city.agano.niigata.jp/>
E-mail / gikai@city.agano.niigata.jp

子育て・教育・健康・暮らし・経済・協働の6つのKを基本軸に施策推進

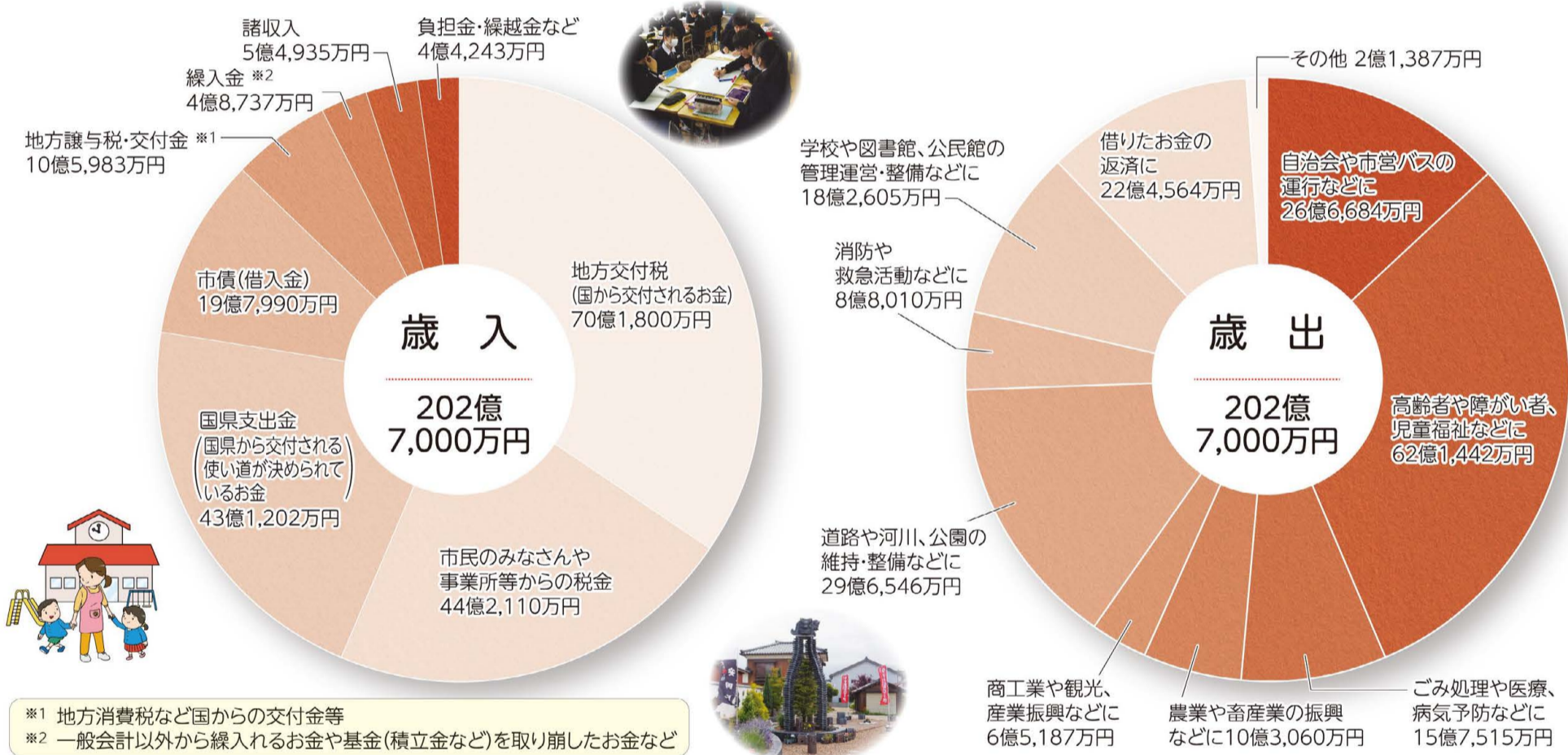
平成30年度
一般会計予算

202億7千万円を可決



3月定例会 会期3/1~20

1日に市長から施政方針、議案の提案説明が行われました。議案のうち補正予算は1日に採決の結果いずれも原案のとおり可決し、平成30年度予算は予算審査特別委員会に付託し、このほかの議案は関係の常任委員会に付託され委員会の審査を経て、最終日20日に採決が行われました。 ※議案ごとの議決結果は6~7ページをご覧ください。



子育て	教育	主な新規・拡大事業		健康	経済
<ul style="list-style-type: none"> 京ヶ瀬地区に公立の子ども園と児童クラブを新設 子育て世帯が安心して働ける環境を整備します 「子育て世代包括支援センター」を新設 妊娠期から子育て期にわたる母子に対する切れ目ない支援を行います 	<ul style="list-style-type: none"> 全中学校にタブレット端末等を配備 ICT教育をさらに推進していきます 中学生生活を始めたばかりの1年生に対して親しみやすい講師を招いて講演会を行い、夢や希望を持って進むことの素晴らしさや大切さを伝えます 	<p>暮らし</p> <ul style="list-style-type: none"> バス用パークアンドライド駐車場を整備 公共交通利用者の利便性を高めます 防犯灯、街路灯に加えて道路照明のLED化 	<p>協働</p> <ul style="list-style-type: none"> 安田地区複合施設(支所と公民館の複合施設)を平成31年3月に開所します 市政モニター制度を実施 市民の皆さんの声を生かす行政運営を行います 	<ul style="list-style-type: none"> あかの市民病院において消化器病センターを設置 消化器系の疾病対策の研究を行い、健康寿命延伸につなげます 障がい者グループホーム整備にかかる経費への助成 障がい者の地域生活への移行を促進します 	<ul style="list-style-type: none"> 県補助事業を活用して新規に施設園芸に取り組む農家に対して支援 施設園芸の生産拡大を目指します 安田地区の瓦ロード周辺において案内標識を設置 観光客が散策しやすい環境を整備します

もくじ

市政を問う一般質問 (14人)	2~5ページ
常任委員会活動報告	5~6ページ
3月定例会議決結果	6~7ページ
第22回議会報告会開催の結果ほか	8ページ

国道49号水原バイパス
平成33年度全線暫定2車線開通へ
新潟国道事務所から開通の見通しが発表されました。

常任委員会の活動 産業建設常任委員会

産業建設部所管の道路、河川、商工業、農業、観光、公園、上下水道等に関する事を審査します。

平成30年1月25日に所管事務調査を行いました。

阿賀野市の農業について

平成29年5月から4回にわたり「阿賀野市の農業について」の調査を実施してきました。

うららの森園芸ハウスの運営状況は、6月下旬～10月中旬までのデータから推計した場合、当初の収穫予定8tに対し約7.7tで、予定収穫量を全量販売した場合575万円相当の販売金額が推計されました。

経費は4か月弱で121万円（人件費を除く）であったことから推計し年間299万円、推定販売金額を差引した収益として276万円になるとのことでした。

今後のうららの森園芸ハウスの活用方法は、技術の向上、合理的な計画の立案や新たに取組む作物の研究のためなどに期限付きで貸与し、専門指導員を置くなど、今まで以上に各団体が連携すべきと考えます。

地産地消の進捗は、目標野菜摂取量が一人当たり一日350gとされており、市民全体の摂取量は年間約5500tが必要。現在予冷センターでの取扱量が89t、学校給食での野菜取扱量92tのうち市内産は17tの計106t。

地産地消を推進するためには、市内での販売網をつくり、家の近く（高齢者の集まる場所）で野菜を購入できるようにし、気軽に販売事業を立ち上げてもらえるよう市内販売業者や、あがのポイントカード協力店に依頼することで地産地消を進むと考えます。

圃場整備を契機とした園芸振興では、平成31年度より圃場整備事業に新規着工する地区は、事業完

閉会中の継続調査事項（6月定例会まで）
瓢湖の現状について

了から3年後までに2割以上の園芸品目導入を目指すよう県から取り組みを依頼されており、モデル地区として予定の発久地区・勝屋地区が該当になるとのことでした。市ではあくまでも努力義務と受け止めています。委員からは、圃場整備を進めるためにも園芸2割以上という割合の見直しについて強い要望が出されました。

市農業者の年齢別推移を平成22年と平成27年と比較すると、10代から30代の増加がみられたものの、60代、70代以上が全体の80%を占め農業形態が従来の米依存型であることから農業生産額が年々減少してしまいました。高齢化・担い手不足を解消し、農業所得の向上には、圃場の区画整備による農作業の汎用化と土地の集積・集約による専業農家の育成、組織化が必要であるとともに、園芸を取り入れた複合農業の推進も必要不可欠で、さらには法人化や若者の就農への補助、後継希望者には無条件で応援する必要があります。

また、園芸団地・園芸施設団地の造成により高品質作物の栽培によるブランド化が図られれば、農家所得も向上することから、県・J A・土地改良区・農家・商工会など今以上に連携を密にし、農業振興を市の一大プロジェクトとする必要があります。園芸農業への転換を進めることは、道の駅の物販に販売をもちたらせることにも繋がります。

今後機会を捉えて大規模農業を成功させるための調査研究は続ける予定です。

3月定例会 議決結果

全会一致で議決した議案等

	結果
人事	阿賀野市教育委員会委員の任命について 任期満了により、引き続き渡邊栄二氏（福永）を任命したい。 同意
平成29年度補正予算	一般会計補正予算（第7号） 平成30年2月5日専決処分 大雪により道路除雪費、枝折れにより危険な新江用水脇桜並木の樹木伐採処分費用を計上。 承認
	一般会計補正予算（第8号） 京ヶ瀬地区の子どもの増加による、京ヶ瀬幼稚園をこども園に移行する事業費2,349万2千円、京ヶ瀬地区に放課後児童クラブを開設する事業費131万9千円、国県営湛水防除・かんがい排水事業負担金2,126万円、ほ場整備事業費720万円、給食センター解体等のため安田学校給食センター移転改築事業費5,810万円、大雪による除排雪作業の増加による道路除雪事業費1億4,640万4千円の増額など。 可決
	国民健康保険特別会計補正予算（第4号） 退職医療費等の減少に伴い療養給付費6,747万4千円、共同事業拠出金では、支出見込みにより高額医療費拠出金1,512万7千円を減額、保険財政共同安定化事業拠出金988万7千円の増額など。 可決
	後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号） 広域連合納付金のうち保険料収入見込額の増により後期高齢者医療保険料納付金1,253万1千円、納付額確定により療養給付費納付金1,556万8千円の増額、保険基盤安定納付金518万4千円、事務費共通経費納付金115万8千円の減額など。 可決
	介護保険特別会計補正予算（第4号） 介護給付額等見込みにより居宅介護サービス給付費2億2,237万6千円、特定入所者介護サービス費542万7千円、審査支払手数料60万円の減額、介護予防サービス給付費588万円、高額介護サービス費1,000万円の増額など。 可決
	公共下水道事業特別会計補正予算（第3号） 市債の償還財源の積立として下水道事業償還基金積立金3,576万8千円を増額、執行見込みにより維持管理費の修繕料120万円、委託料1,087万円、工事請負費75万6千円を減額、流域下水道維持管理負担金780万円を増額、長寿命化対策事業費1,500万円、流域下水道県工事負担金402万2千円、接続見込み件数の減少により接続効果促進事業費708万円の減額など。 可決
	集落排水事業特別会計補正予算（第2号） 消費税および地方消費税16万9千円を減額、市債の償還財源の積立として集落排水事業償還基金積立金741万6千円を増額、執行見込みにより大和地区施設維持管理事業費50万円、笹岡地区施設維持管理事業費140万円の減額など。 可決
	少年自然の家特別会計補正予算（第3号） 業務委託実績による業務委託料120万円の減額、一般会計繰出金301万8千円の増額など。 可決
	工業団地造成事業特別会計補正予算（第1号） 前年度繰越金確定による一般会計繰出金6千円を計上。 可決
	病院事業会計補正予算（第4号） 収益的収入の一般会計繰入金および収益的支出の医業費用委託料をそれぞれ1億8,197万5千円の増額、その他収益的支出の医師住宅の普通財産への所管換えおよび医療機器の更新等に伴い固定資産除却費6,639万3千円の増額など。 可決
平成30年度当初予算	国民健康保険特別会計予算 予算総額40億7,119万3千円【前年度比18.1%減】 県と市町村一体で運営する国民健康保険新制度の初年度にあたり、被保険者数の減少と一人当たり医療費の増加を見込み健全財政に向けた予算とした。 可決
	後期高齢者医療特別会計予算 予算総額8億662万7千円【前年度比5.8%増】 保険者の新潟県後期高齢者医療広域連合と事務を分担し連携を図りながら制度の円滑な運営を行う予算とした。 可決
	介護保険特別会計予算 予算総額49億255万9千円【前年度比3.8%減】 第7期介護保険事業計画スタートの年度で、歳入歳出とも計画に沿った内容で地域包括ケアシステムにおける地域の支え合い活動を構築する予算を増額計上。また、要支援者等比較的軽度な認定者が増えており一人当たりの給付費減少が見込まれ、全体としては減額の予算とした。 可決
	公共下水道事業特別会計予算 予算総額27億2,628万4千円【前年度比1.9%減】 下水道の事業効果である公共用水域の保全や生活環境の改善を主たる目的とし、あわせて各地区の均衡を図り、より一層効果的な整備を進める予算とした。 可決
	集落排水事業特別会計予算 予算総額2億5,191万4千円【前年度比5.5%減】 整備済施設の維持管理を主たる目的とした予算とした。 可決
	押切外四ヶ大字財産区特別会計予算 予算総額501万7千円【前年度比0.1%減】 財産区山林の維持管理に要する予算とした。 可決
少年自然の家特別会計予算 予算総額3,160万1千円【前年度比0.6%減】 地の利を生かした自然体験施設として情報発信し利用拡大を目指す予算とした。 可決	



全会一致で議決した議案等

		結果
平成30年度当初予算	工業団地造成事業特別会計予算 予算総額208万1千円【前年度比98.3%減】市営西部工業団地造成事業に係る市債の元利償還金が主な予算とした。	可決
	水道事業会計予算 予算総額22億3,868万2千円【前年度比0.6%増】災害に強い水道の推進と安全でおいしい水の安定供給に努める予算とした。	可決
	病院事業会計予算 予算総額10億2,018万6千円【前年度比30.2%減】あがの市民病院において必要な医療機器等の購入に係る機器整備費、老人保健施設五頭の里のエレベーター老朽化に伴う改修費などを計上した予算とした。	可決
条例	阿賀野市個人情報保護条例の一部改正について 個人情報の保護に関する法律及び行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の改正に伴い所要の改正をする。	可決
	阿賀野市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について 一般職の職員の給与に関する法律の改正に伴い、国・県に準じて扶養手当支給額を改正する。	可決
	阿賀野市手数料条例の一部改正について 母体保護施行令に基づく受胎調節実施指導員の指定証の交付等が県から権限委譲されるため新たに手数料を定める。	可決
	阿賀野市国民健康保険給付準備基金条例の一部改正について 国民健康保険広域化により保険給付金等各種納付金が、新潟県国民健康保険団体連合会、社会保険診療報酬等支払基金から県への一括納付になるため所要の改正をする。	可決
	阿賀野市立幼稚園設置条例の一部改正について 京ヶ瀬幼稚園を認定こども園とするため改正する。	可決
	阿賀野市児童クラブ設置条例の一部改正について 京ヶ瀬地区に新たに児童クラブを開設することに伴い改正する。	可決
	阿賀野市ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部改正について 所得税法の改正に伴い所要の改正をする。	可決
	阿賀野市重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正について	可決
	阿賀野市コミュニティセンター瓢湖憩の家の設置及び管理に関する条例の一部改正について 改修に伴い新たに設置されるフリースペース（多目的室）の使用料等を定めるほか、指定管理者が管理を行わないため所要の改正をする。	可決
	阿賀野市妊産婦医療費助成に関する条例の制定について 市町村住民税非課税世帯に属する妊産婦が負担する医療費の一部を負担することで、妊産婦の疾患の早期発見と治療を促進するため制定する。	可決
	阿賀野市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の制定について 指定居宅介護支援事業者の指定について県から権限が委譲されるため、介護保険法に基づき基準を制定する。	可決
	阿賀野市デイサービスセンター設置及び管理に関する条例の一部改正について デイサービスセンターわかばの里と永寿園が事業を廃止するため改正する。	可決
	阿賀野市国民健康保険条例の一部改正について 国民健康保険法の改正に伴い所要の改正をする。	可決
	阿賀野市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について 国民健康保険加入の住所地特例者が後期高齢者医療の被保険者となった場合も、引き続き住所地特例者とするほか所要の改正をする。	可決
	阿賀野市介護保険条例の一部改正について 介護保険第7期計画（平成30～32年度までの3年間）における介護保険料の改定および介護保険法の改正により、市町村の質問検査権が第2号被保険者等もその対象となるよう範囲が拡大されたことに伴い所要の改正をする。	可決
	阿賀野市神山ふれあいの家の設置及び管理に関する条例の全部改正について 阿賀野市コミュニティ供用施設設置及び管理に関する条例の全部改正について	可決
	阿賀野市農業総合管理センターの設置及び管理に関する条例の全部改正について 阿賀野市笹神農研研修所の設置及び管理に関する条例の全部改正について	可決
	阿賀野市農産物加工所の設置及び管理に関する条例の全部改正について 阿賀野市農産物加工食品貯蔵庫の設置及び管理に関する条例の全部改正について	可決
	阿賀野市営温泉保養センター条例の一部改正について 地方自治法第244条の2第8項に基づき指定管理者が当該施設の使用料金の収受を行うため所要の改正をする。	可決
	阿賀野市農産物加工施設の設置及び管理に関する条例の廃止について 利用実態を踏まえ、より効果的な施設運営とするため公の施設としての用途を廃止し、指定管理者である北浦みなみ農業協同組合へ無償譲渡するため廃止する。	可決
阿賀野市産業経済振興条例の一部改正について 小規模企業振興基本法の公布に伴い小規模企業者の果たす役割の重要性を鑑み、事業の持続的発展を支援する目的で小規模企業について定義するため改正する。	可決	
阿賀野市水原代官所設置条例及び白鳥の里条例の廃止について 阿賀野市水原代官所設置条例の制定について 阿賀野市白鳥の里設置条例の制定について 白鳥の里を有料の通年開館から利用時限定の無料開館することに伴い、阿賀野市水原代官所設置条例及び白鳥の里条例を廃止し、新たに阿賀野市水原代官所設置条例、阿賀野市白鳥の里設置条例を制定する。	可決	
阿賀野市都市公園条例の一部改正について これまで国が一律に定めていた都市公園の運動施設率の上限を市の条例で定めるため改正する。	可決	
阿賀野市集落排水処理施設条例の一部改正について 平成30年3月31日に笹岡地区の財産処分を行うことに伴い改正する。	可決	
阿賀野市道路占用料徴収条例の一部改正について 道路法施行令の改正に伴い、国県に準じて道路占用料を改正する。	可決	
阿賀野市市営住宅条例の一部改正について 認知症等の場合の収入申告義務を免除し、市の調査に基づく家賃決定を可能にするほか所要の改正をする。	可決	
阿賀野市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について 消防団員の任用年齢の上限を45歳未満から55歳未満に引き上げ、また報酬の支払い時期、年度途中の異動者に対する報酬金額を日割計算とするため改正する。	可決	
阿賀野市火災予防条例の一部改正について 危険物の製造所、貯蔵所および取扱所設置の許可等に係る事務手数料を改正する。	可決	
その他	公の施設に係る指定管理者の指定について ・阿賀野市笹神農研研修所、阿賀野市笹神地区農産加工所を指定管理者制度により、ささかみ農業協同組合に管理を行わせる。 ・阿賀野市宿泊施設リズム・ハウス瓢湖を指定管理者制度により、リズム・ハウス瓢湖運営グループに管理を行わせる。 ・宝珠温泉保養センターあかまつ荘および安田農村環境改善センターを指定管理者制度により、株式会社共立メンテナンスに管理を行わせる。	可決
	工事請負契約の締結について（安田地区複合施設建築工事） 制限付き一般競争入札に付した安田複合施設建築工事について、坂詰・帆刈・安田特定共同企業体と6億998万4千円で請負契約を締結する。	可決
選挙	阿賀北広域組合議会議員補欠選挙 指名推薦により石川恒夫議員が当選。	選挙

意見が分かれた議案等（各議員の賛否一覧表）

議案	議員	会派														議決結果				
		公明党	日本共産党		新政クラブ	阿賀野クラブ				ネオあがの	会派の所属なし									
	賛否	村上清彦	倉島良司	宮脇雅夫	稲毛明	江口卓王	近山修	石川恒夫	山崎正春	浅間信一	山口功位	中島正昭	風間輝栄	天野美三男	市川英敏	遠藤智子	山賀清一	清野栄一	横井基至	
一般会計予算 予算総額202億7,000万円【前年度比2.6%増】「人口減少の抑制」や「地域経済の活性化」の課題に取り組み、まちづくりの目標である「元気で明るく活力のある魅力的なまち」を実現するため、限られた財源を「選択と集中」により、総合計画の実施計画事業に重点的かつ効果的に配分する予算とした。 ※主な新規事業などを1ページに掲載		○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
反対意見：平成30年度予算（案）は引き続き「子育て・教育・健康・暮らし・経済・協働」の6つのKを重点としたものである。いくつかの事業は市民等にとって、評価できるものであるが、マイナンバー関連の予算が入っており、ナンバーで市民の人間性がゆがめられるものであり反対する。																				

第22回

議会報告会を開催しました

市PTA連絡協議会の皆さんと子育てや教育における課題、各学校が抱える問題点など意見交換

質疑、意見の一部を紹介いたします。なお、掲載内容は要約しておりますのでご了承ください。
詳しい内容は、市ホームページ「市議会」のページに掲載しています。

問 昨年度の要望や教育行政等で、今年1年を通して進展・変化したことは何か。子育て支援政策の費用対効果や評価を市民に知らせてもらいたい。

答 子育て支援の新規事業等を参考にしたい。議会では9月の決算審査特別委員会で政策に対して審査を行っている。市のホームページ上でも公開している。今後は情報公開の一方通行を改善していきたい。

問 保育園無料化政策は子どもの年齢に関係なく適用してもらいたい。

答 国のほうでの幼児教育無償化が決まれば、阿賀野市でも考えられる。

問 子どもの教育を考える際、親が子どもに対し適切な指導ができていないと感じられることから、まず親に対し、「大人を大人にする」という、大人に対する教育を考えてもらいたい。

答 昔は、他人の子供を叱ることができた。今はできない状態。叱ることの大切さを再考してもらいたい。そのためには地域連携も大切。

問 学童施設がいっぱい受け入れてもらえない。(笹神地区)

答 施設の充実を図ってもらいたい。市全体でニーズ調査をするのも良いのではないかと。行政側に伝える。



1月26日、市内小中学校のPTA会長など14人が出席

いただいたご意見を参考に、政策立案等に役立てていきたいと考えています。これからも多くの市民の皆様からご参加いただけますようお願いいたします。

意見 給食費無償化などで、全子育て世帯に恩恵のある支援をしてもらったほうが、支援策として分かりやすく、市のアピールにつながるのではないかと。

意見 一部生徒による授業妨害が発生したが、静かに授業を受けている生徒の教育を受ける権利をしっかり守ってほしい。落ち着かない生徒へも心のケアをしてほしい。

答 一般質問にて、行政側から前向きな回答をもらっている。

問 スポーツ少年団の指導員とその補助をする人の不足や、〇〇教室(塾)・各種大会の送迎などの負担が大変なので支援してもらいたい。

議会と意見交換

議員としゃべりましょよば!

皆さんのもとへ出向き、意見交換をいたします。自治会・団体・グループ等で気軽に申し込みください。

【会場】 原則、市内の公共施設・地区公会堂等
※使用料が必要な場合は、団体で負担してください。

【申込方法】 申込書を議会事務局へ提出してください。
申込書は議会事務局に用意してあるほか、ホームページからもダウンロードできます。

あがのポイントカードのまちづくりポイント対象事業です。

議会の情報発信! 会議日程や議決結果、会議録、議会報告会などの情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

【阿賀野市トップページ】

阿賀野市議会

バナーをクリック!

編集後記

桜前線の便りの季節。情勢が著しく異なる現状において、市民の方々には分かりづらいたことが多くあると思います。広報部会ではあらゆる方面角度から、少しでも公平公正に議会だよりをお届けすることに努めています。市民の皆さまからも遠慮なくご意見ご要望等をお待ちしています。また議会では、地域の団体組織、いろいろな会、自治会等から要請があれば議会報告会を開催いたします。ぜひお声がけください。

(広報部会会長 山賀 清一)

阿賀野市議会改革推進特別委員会広報部会

部長 山賀 清一
副部長 横井 基至
部長 山賀 清一
副部長 横井 基至
委員 風間 輝栄
委員 倉島 良司
委員 遠藤 智子

次回(6月)定例会の予定

5月28日(月)	議会運営委員会 (定例会の運営方針決定)
6月7日(木)	本会議(議案上程、一般質問)
6月8日(金)	本会議(一般質問)
6月11日(月)	本会議(一般質問)
6月12日(火)	休会(事務整理)
6月13日(水)	総務文教常任委員会
6月14日(木)	社会厚生常任委員会
6月15日(金)	産業建設常任委員会
6月18日(月)	休会(事務整理)
6月19日(火)	本会議(委員長報告、採決)

5月28日開催の議会運営委員会で正式に決定します。その後、市ホームページでお知らせしますのでご確認ください。